

報道発表資料の配付日時 8月 4日(火) 15時00分

発表項目	北海道立総合研究機構 畜産試験場（新得町）における牛の脱柵によるJRへの影響について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>本日、北海道立総合研究機構 畜産試験場から牛が脱柵し、地域住民の方々に不安を与えるとともに、JRの運行に多大な影響を及ぼし、JR北海道、乗客の皆様にご迷惑をおかけしましたことに心からお詫び申し上げます。</p> <p>今後、このようなことのないよう牧柵の緊急点検を実施し、再発防止に努めてまいります。</p> <p>1 事故の概要 平成27年8月4日(火) 8時30分ころ新得町内のJR根室本線の線路敷地内（広内信号所付近）に新得畜産試験場の黒毛牛1頭が侵入し、特急スーパーおおぞら2号等の運行を妨げ、最大約50分の遅れを生じさせた。</p> <p>2 対応 8時30分過ぎにJR新得駅から通報を受け、新得畜産試験場の職員13名が進入現場へ急行し、9時40分頃、牛を捕獲した。</p> <p>3 事故の原因 放牧場に牛37頭を放牧していたが、その内の1頭が牧柵（有刺鉄線4段）の隙間を破り、線路内に侵入した。</p> <p>4 対応策 ・道総研で動物を飼育している試験場すべてに緊急点検を指示（8/4） ・牧柵の隙間など脆弱な箇所の補修 ・試験場内の見回りの強化</p>		
参考	<p>○ 過去の脱柵事案 ・平成10年7月22日 放牧中の牛が脱柵してトンネル内に進入し貨物列車にはねられた ・平成12年7月 8日 放牧中の牛が出入口の隙間から外に出て、線路内に進入し特急列車にはねられた</p> <p>○ 道総研として、新得町及び新得警察署に情報提供するとともに、本日JR北海道を訪ね、謝罪いたします。</p>		
報道（取材） に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付	（場所）	
	同時レク		
担当 （連絡先）	北海道立総合研究機構 経営企画部 副部長 岩田 伸正 TEL：011-747-2795（内線211）		

地方独立行政法人北海道立総合研究機構畜産試験場



畜産試験場庁舎
※白抜きの土地は
畜産試験場試験地

脱柵力所
有刺鉄線4段柵

畜産試験場肉牛脱柵状況写真



上から2段目のバラ線が下がり3段目と重なっており、ここから牛が足を入れて脱柵したと思われる。



柵より50m程笹藪を南下した所に、JR線路が走っている

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構農業研究本部
畜産試験場

所在地

〒081-0038

北海道上川郡新得町字新得西 5 線 39 番地 1

概要

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 畜産試験場は北海道上川郡新得町に位置し、総面積 1 5 7 3 ha、職員総数は 88 名（平成 2 7 年 4 月現在）で構成され、6 つの研究グループ（肉牛、中小家畜、技術支援、家畜衛生、生物工学、飼料環境）を中心として畜産に関する試験研究および技術支援を実施。

沿革

新得畜産試験場		滝川畜産試験場	
明治 9 年 (1 8 7 6)	北海道開拓使によって札幌の真駒内に牧牛場として発足	明治 3 9 年 (1 9 0 6)	農商務省の月寒種牛牧場滝川用地として設置
昭和 2 2 年 (1 9 4 7)	新得町に移転し北海道立新得種畜場と改称	大正 7 年 (1 9 1 8)	農商務省直轄の滝川種羊場として発足
昭和 3 7 年 (1 9 6 2)	北海道立新得畜産試験場に改組	昭和 3 7 年 (1 9 6 2)	北海道滝川畜産試験場に改組
平成 1 2 年 (2 0 0 0)	滝川畜産試験場との統合により北海道立畜産試験場として発足		
平成 2 2 年 (2 0 1 0)	地方独立行政法人北海道立総合研究機構が設立され、農業研究本部畜産試験場となる		

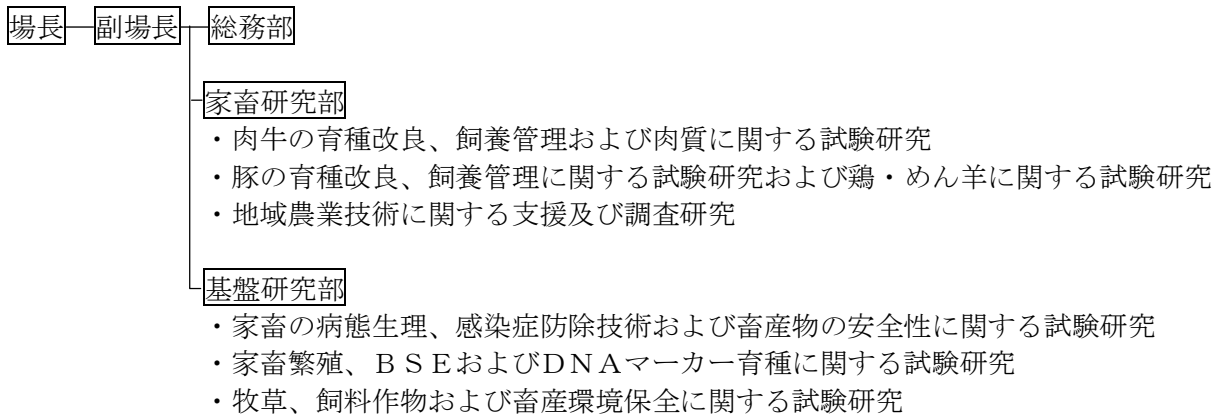
職員数 88 名（平成 27 年 4 月）

研究職員 35 名

研究支援職員 40 名

事務職員(派遣)13 名

組織図



家畜の頭羽数

乳用牛	肉用牛	豚	鶏	めん羊	馬
69	591	201	1723	282	20